

「番町次世代シンポジウム」の開催・参加者募集に合わせて、番町への思いやもっと良くしていくためのアイデアを募集し、いただいたアイデア等を番町次世代シンポジウムの場で参加者の皆様にご案内しました。なお、この提案は今後の地域まちづくりにも活用していきます。

募集方法・期間 広報千代田及び千代田区 HP にて 11/5～11/19 の 2 週間募集

※シンポジウムの開催・参加者募集と同時ご案内

応募人数・件数 16 人（番町周辺住民、男性 8・女性 8）・29 件

① 住宅街・文教地区としてのまちづくり

No.	アイデア
1	番町は都市マスにも記載されている通り、一義的には住宅街・文教地区です。住宅地の静かさは繁華街の賑わいとは両立しません。住みやすさを高めるためには、建物の容積率の制限、歩道の充実、私有地・公有地を問わず樹木の維持が必要と考えます。騒音を伴うイベントは学校の活動以外は不要です。番町のお屋敷がマンションに変わる事は仕方ないと思いますが、既存の石垣・白壁の保存のために区役所として指導ならびに補助金拠出をする事を提案します。
2	思い：「ああ番町にお住まいですか」、と羨ましがられるような住環境を守る。番町全体で調和を保ち、資産価値が下がるようなことはしない。上品で、静かで、清潔で、空が広くて、緑があって、礼儀を守って暮らす住宅・文教地区を構築する。 アイデア：①歩行者を守るため、地区内の自動車走行速度を 30km/h に強制的に抑える。そのためには、交通量の増加が予想される道路にハンプを設置、或いは、クラック道路とする。②地域の商業が日テレビルのチェーン店により駆逐される可能性が高い（他の再開発の事例）。休祭日は日テレ通りなどを歩行者天国とし、オープンテラス、青空カフェの出店を周辺中小飲食業者に認める。③テレビタレントによるイベント開催はしない。④広い空をキープできるように日テレ二番町ビル以外の超高層ビル建設は認めない、⑤日テレ広場は灼熱強風のコンクリート広場は作らず、緑と樹木広場とする。緑には昼間立ち入りを認める。危険の少ないボール遊びなども小学校低学年以下に限り認める時間帯を作る。⑥番町内の建設物の色彩を統一する。⑦日テレビルにより大幅な通勤客が通勤時間帯に集中して通学生、住民の不便を避けるため、時間差通勤制度を設けて通勤時間帯ごと通行者をコントロールする、⑧以上をエリアマネジメントが総合管理するが、傘下に各委員会を設け負担を軽減する。
3	番町は 1～2 車線の道路幅が狭い、住宅やビルが密集した地域です。高層ビルが建つことによる、ビル直下でのビル風が心配です。ビル間、道路幅が狭ければ、風の影響も強くなると思います。番町には学校や幼稚園・保育園も多く、児童・幼児の通学路への風の影響が心配です。また、ビルを建設する際、公共広場を作るとの案もありますが、強風が吹き下りる広場で子供やお年寄りがゆっくりと憩うことができるかどうか心配です。番町に高層ビルが建ち並ぶことは反対です。

アイデア提案

①住宅街・文教地区としてのまちづくり（つづき）

No.	アイデア
4	・長年私自身が二番町で暮らし、家族・親族を含めれば100年近くこの地に住んできたため、今後とも住み続けられる地域として街の在り方を考えたい。 ・近年の人口急増（住人・労働者）により公共物、特に歩道の混雑が激しいため、一部区画だけではなく地域全体の将来人口を想定した街づくりを考えてほしい。（今後予想される開発を視野に入れる必要がある。） ・大災害に備える地域にしてほしいが、木造密集地ではなく鉄筋コンクリートのビルが多数のため、自宅・各事業所待機を想定した計画。（昼間人口が多いため特に企業の災害対策がどのようになっているのか。仮に避難所に避難するとして収容可能なのか、冷暖房があるのか等） ・人が集う場所も必要だが、二番町は住宅街としての面もあり、音、内容、安全性等どのようにルールを決めていくのか、大まかな住民の合意を集約する場を設ける方法。
5	・平日の昼間は会社・学校関係者で活気があり、土日祝日などは静かな落ち着いた住宅街になる、両面のある雰囲気を持続していくことが大事だと思います。 - よく「赤坂や六本木のようにならないか」との懸念が聞かれます。こうした懸念が生じないようにあえて「あまりイベントはやらず、子どもは自由に遊べ、お年寄りゆっくり休める、都会なのに落ち着きを体感できる広場」にあるといいと思います。 ・番町は意外と緑が少ないので、濃厚な緑地空間があるといいです。ビル風も和らぐと思います。
6	番町の住宅街に高層建築は建てない

②美観と交通の整序

No.	アイデア
7	個々のイデオロギーや社会経済状況に関係なく共通する環境負荷と健康寿命の問題を考えると、都市の美観と移動交通システムの改善を優先的に図るべきです。ズバリ、なかなか進まない「電柱の撤去」、およびマンハッタンでも導入される「一般車両の乗り入れ制限」です。
8	今回の二番町再開発について賛成派と反対派が激しく対立している状況において、単にこのシンポジウムを開いても両者の溝は埋まらず、かえって対立感情が激化するだけと思われます。 反対派が懸念している事項のうち、特に通勤・通学時間帯の日テレ通り歩道・有楽町線麴町駅の麴町口の混雑とその緩和策のシミュレーションと評価、イベント時、大地震発生時の上記ならびに日テレ通り車両交通渋滞の同シミュレーションと評価を千代田区として第三者機関に委託して客観的な見解を公開し、それをもとに計画の妥当性を賛成派と反対派で各々検討することが重要かと思います。本件について千代田区がそのシミュレーションと評価を一方の当事者である事業者（今回は日テレ）任せにするべきではないと考えます。

アイデア提案

②美観と交通の整序（つづき）

No.	アイデア
9	階段状の建物は、セブンイレブンの本社を番町文人通りから見たようなイメージです。番町の丘、なんてどうでしょうか。
10	番町バス停付近を、渋滞が解消され、緊急車両進入に支障のないようにしたい。日本テレビ通りは、車道の道幅が狭いバス通りです。番町バス停に都バスが停車すると、その後ろに渋滞が発生することは珍しくありません。日テレ跡地に、就業者が数千人の建物が建つと、通行車両が増加して、今以上の頻度で今以上の渋滞が発生する可能性が心配されます。渋滞時に災害や火災が発生すれば、求められる緊急車両の進入に支障が生じることも危惧されます。新橋駅と小滝橋車庫の間の都バスは、ノンステップバスを使って運行されていることもあり、高齢者にとっても乗降の負担が軽いので、有難いバス路線です。街の安全・安心のためには、都バスの渋滞回避を回避して運行することが重要です。都バスのバス停前後の車道幅を拡げる、或いは、都バスを日テレ敷地の中にいれて乗降客に乗降してもらう、或いは、その他の方策を工夫することができると考えられる。渋滞の回避と緊急車両進入に支障のない状況を確保しておくことが望ましいと考えます。都バスを、交通広場に乗り入れさせて、客の乗降を行わせることも有効かも知れない。これは、日テレの建てるテナントビルの利用者の安全確保にも必要なこととなります。
11	【道路の美観と安全性向上】 個人的に、番町エリアの道路は他の住宅地に比べて、問題が多い箇所が散見されるように思います。二七通りは何年経っても凸凹のボロボロで工事中？です。安物の緑色のガードレールが多く、ボロボロで歪んでいるものもあり、幅も隙間も少ないため、すれ違う歩行者の障害になっています。歩道と車道が色分けされているところもあれば、白線だけのところもあり、統一感がありません。あちこちに電柱が立っており歩道から車道へ出ないと歩行者が進めない箇所が多々あるため、事故の原因になりかねません。今後より住みやすい街にしていくためには、電柱の埋設化、ガードレールの交換、道路デザインの改善と統一などが必要であるように思います。

③安心・安全の向上

No.	アイデア
12	建物の規模や施設の種類によっては車寄せや荷捌き場の設置を求めることを、安全な街づくりの一環として検討してほしいです。道の広さは昔と変わらないのに建物が大きくなり、渋滞や危険な状況が発生しやすくなっていると懸念しています。
13	地下鉄有楽町線麴町駅番町口改札階と新木場方向行きホーム階の間にエレベータ・エスカレーターをつけて、高齢者や障害者の地下鉄利用を現実的に可能にする。
14	保水性のある舗装は、効果が認められているならば実現して欲しいです。
15	課題となっている麴町駅からのバリアフリーであるが、ホームから部分的でもエスカレーターの設置ができないのか。（解決手段を検討できないのか。）

アイデア提案

③安心・安全の向上（つづき）

No.	アイデア
16	【番町地域への思い】 番町は歴史ある閑静な住宅街です。現在は商業ビルも建ち並び、商業地区と住宅街がバランスよく共存し、都会でありながら落ち着いた文教地区となりました。 平日は区外からの方が多く行き交いますが、週末や祝日は落ち着いた町に戻ります。 住む者にとってはこの環境を守り、繁華街にしないで頂きたい。 【アイデア】 ●麴町駅（番町方面）の完全バリアフリー化。 改札からではなく、駅ホームから地上を繋ぐバリアフリーの動線が必要だと思います。
17	・麴町駅の中の階段はそのままと聞きました。体調の悪い人でもホームから地上に上がりやすくなるよう、メトロに働きかけたいと思います。
18	たき火や乗馬など近隣に不安に思わせるものはやらない
19	【救急車及び救急センターの拡充】 麴町消防署の職員さんから聞いたお話で、番町エリアは火事は少ないが救急の電話が多いそうで、それに対し救急車が永田町出張所に1台のみとのことでした。東京消防庁のウェブサイトにも救急車が足りないと書いてありますので、お年寄りの多い番町エリアでは救急車の置き場を追加確保する必要があるように思います。
20	治安・風紀の悪化防止の恒常的活動の体制確立： ・日本テレビのスタジオ棟で制作される番組の視聴者が、スタジオ棟退出後に、番町文人通り沿いの空地で、集まって飲酒・歓談（路上飲酒など）を続けていることが見受けられると聞いています。日テレ敷地に、スタジオ棟に加えて、超高層のテナントビルができると、日テレ敷地全域でこのような行動が一層盛んになることも懸念されます。 ・ついては、定常的な見回りが行われ、このような人には、適時適切に、散会、撤収を促す活動が定常的に確保されることが必要です。 ・このような活動が恒常的に行われて効果を挙げるようにする体制の確立を提案します。

④憩いの場の創出

No.	アイデア
21	番町は風格や落ち着きがあって素敵な町だと思います。憩いの場があるともっと良くなると思います。バッタリ会った知人と、ちょっと立ち話をしようにも、通りの邪魔にならないか、ご近所のご迷惑にならないかと憚られる。椅子のある広場や緑地があると嬉しい。歩きたくなる広々とした並木道もあると嬉しい。（緑はヒートアイランド対策にもなるそうですし。フラワーロードは、有志によって花が植えられていると聞きました。素晴らしい取り組みだと思います。花を愛し、緑を愛し、人を、町を愛する心温まる街になると良いと思います。

アイデア提案

④憩いの場の創出（つづき）

No.	アイデア
22	番町麴町は、歴史と伝統が息づく、落ち着いた雰囲気のある街です。 しかし、近年では、子どもの遊び場不足や、地域住民の交流機会の減少といった課題も耳にするようになりました。 そこで、私は、地域での活動経験を活かし、「番町をよくするアイデア」を提案します。 多世代交流の場としてのコミュニティスペース、全天候型屋内プレイパーク、タウンミーティング、地域メディアの運営 これらの提案を通して、番町麴町が、多世代が交流し、子どもたちの笑顔があふれ、住民の声が反映される、より活気のある街になることを願っています。 ●多世代交流の場としてのコミュニティスペース 従来のコミュニティスペースの概念を超え、様々な世代の交流を促進する場を創造します。 キッチンスタジオ: 料理教室や食育イベントを通して、食を通じた交流を促進します。 銭湯: 地域住民の憩いの場として、世代を超えた交流を生み出すとともに、健康増進にも貢献します。 図書スペース: 子どもから大人まで楽しめる図書を揃え、読書会や勉強会などを開催します。 ●全天候型屋内プレイパーク 近年の酷暑や、乳幼児の安全面を考慮し、天候に左右されず、誰もが安心して遊べる屋内プレイパークを整備します。 乳幼児専用スペース: 安全に配慮した遊具を設置し、おむつ替えや授乳スペースも完備します。 ユニバーサルデザイン: 車いすやベビーカーでも利用しやすいよう、段差をなくす、広々とした通路を確保するなど、ユニバーサルデザインに配慮します。 多様な遊具: 年齢や発達段階に合わせた遊具を揃え、子どもたちの好奇心と創造性を刺激します。
23	●日テレが広場を作るそうですが、老若男女の住民が休日に憩える広場にしてほしいです。 客寄せ、賑わいづくりを目的としたイベント広場は反対です。 音、異臭を発するようなイベントの開催は反対です。 ●マイクを使用するようなイベントは年1回の盆踊り位で十分だと思います。 ●番町周辺には東郷公園、外濠公園もあります。これらすべての広場や公園を包括的に管理するシステムが必要だと思います。 日テレの公開空地だけを管理するエリアマネジメントではなく、イベントの規模や目的に応じた広場を割り振るシステムが必要です。 ●外濠公園の利用率を高め、区の収益アップにもつながるといいと思います。 ●外濠公園に開閉式の天井、壁を作り、全天候、様々なイベントに使えらる公園にしたらよいと思います。

アイデア提案

⑤その他

No.	アイデア
24	参考資料として添付している第 9 回日テレ協議会のアンケート集計オープンハウスの実施計画が参考になるのではないかと。ここでは「日テレ通りに感じる魅力」と「日テレ通りをより良くするために必要と思う機能・施設」がまとめられており、上位に位置づけられている魅力や機能・施設は何れも納得感のあるものとなっている。これを活用しない手はないと思う。
25	○日テレ跡地に二番町地区地区計画を変更して建設・整備される街区公園並みの空地と超高層ビルの屋上や側面を活用して、三井住友海上駿河台ビルに倣い、緑地内にバードパスとビオトープをつくり、エコロジカルワークにも寄与しバードウォッチングもできる場所をつくることを提案します。 ・三井住友海上駿河台ビルの緑地は、高層ビル屋上にイワツバメが営巣するようになっており、千代田区の「平成 28 年度生物多様性大賞」最優秀賞を受賞している施設で、生物多様性に加えて、地球温暖化対策、自然環境教育推進など様々な観点から素晴らしい施設になっています。 ・千代田区には、残念ながら、これにつづく環境整備、特に、イワツバメが来るような場所は、番町麴町以外では、たくさん的高層建築物が建てられていながら、今のところできていないと思います。番町麴町地区にも、同様の施設が配置されることは、番町麴町の住民のみならず、千代田区全体にとっても、望ましいことと思います。 ・日テレ再開発では、超高層ビルが建てられることになっていますので、番町地区に、駿河台に倣って、自然界では断崖絶壁に営巣するイワツバメ（ヒメアマツバメ）は超高層ビルの屋上にコロニーをつくり、ビル壁面に沿って飛翔するのがみられ、その他さまざまな種類の野鳥のバードウォッチングを楽しめる場ができれば、広範な年齢の子供たち、子育て家族から高齢者まで、この街区内の多くの人々に、素敵な環境を提供できるようになり、心からの地域貢献を望んでいると言われる日本テレビにとっても願いが叶い、申し分のないものになると思います。
26	●タウンミーティング 地域住民が主体的に地域課題について話し合い、解決策を探る場として、タウンミーティングを定期的開催します。 地域課題の共有： 防犯対策、防災対策、環境問題、子育て支援など、地域課題を共有し、解決策を検討します。 専門家による勉強会： 専門家を招き、地域課題に関する知識を深める機会を設けます。 相談窓口： 悩みや困りごとを相談できる窓口を設け、地域住民同士の助け合いの精神を育みます。 ●地域メディアの運営 番町エリアの情報発信を強化し、地域住民の QOL 向上に貢献します。 地域情報サイト： イベント情報、お店の紹介、地域住民のインタビューなどを掲載します。 地域新聞： 地域のニュース、住民の活動報告、コラムなどを掲載し、地域への愛着を育みます。 コミュニティ FM： 地域密着型の番組を制作・放送し、地域住民の声を届けます。

アイデア提案

⑤その他（つづき）

No.	アイデア
27	当園のこどもたちは東郷公園や千鳥ヶ淵公園や番町の森などにお散歩に行って、遊具で遊んだり、走り回ったり、葉っぱや虫を探したり触ったりしています。 マンションの周りでお散歩したり、遊んだりしていると静かにするよう注意されることもあります。 こどもたちが元気に遊べる場所をたくさん作ってほしいです。
28	【駐輪場の拡充】 番町エリアではマンションにお住まいの方が9割以上とのことですが、基本的に多くのマンションは1室につき1台の駐輪場しか設けておらず、それ以下のマンションもあります。子供を自転車に乗せてあげたいのですが、置き場がなくて困っています。既存マンションが駐輪場を拡充することに対する助成金制度や空いている駐輪場を地域住民へ貸し出すような取り組みがあると大変助かります。
29	地域の保育園の園長先生から聞いたのですが、隣接マンションから地域のカラーではないという理由でクレームが入るため、園の窓を開けられない、園庭で子供を遊ばせられない、園の前で保護者がお迎え待ちできない、といった状態だそうです。一部のマンションからは承諾を得られ、その方向の窓だけは開けられるそうです。これについてどう思うかシンポジウムでもご検討頂きたいです。